



## Turbo Bracing Guide

これは、ターボとマニホールドを取り付けてセットアップする際に、ターボのサポートと補強を支援するための具体的なガイドです

- SINCOステンレス・エディションのターボ・マニホールドを使用する場合は、追加の補強とサポートが推奨されます。
- マニホールドを設定する際に考慮すべき主な要因は次のとおりです。
  1. ターボの重量
  2. 極度の熱(ターボが長期間負荷を受けているとき)
  3. 振動(エンジンのマウントやエンジンの回転が原因)
  4. マフラー重量(フロントパイプ以下)
- レースコンディションでは、マニホールドを取り付ける際に追加で補強固定の必要があります。
- ローマウントマニホールドを使用するときは、ターボをブロックと連結固定することを推奨します。これを行う最善の方法は、タービンハウジングを固定しているボルトを拾うか、またはアクセスできない場合は、オイルドレンのボルトを拾うことです。ターボのベースをボルト止めするオイルドレンフランジからタブを溶接します。これを行う究極の方法は、ロッドエンドを使用することです。マニホールド/ターボを支持することができますが、熱膨張の下でマニホールドが動くこととピボットすることもできます。



- トップマウントターボマニホールドを装着させるとき、ブロックに補強ブレースの使用は重要ではありません。マニホールドランナーがターボのサポートを補助し、重量を支えるためです。

- ギアボックス/エンジンブロックに戻ってくるフロントパイプの補強は、ターボ重量をサポートするもう一つの方法です。私たちは通常のフラットバーを使用し、ギアボックスボルトをピックアップします。通常、このブレースはx2個ありますので、ギアボックスが出る必要がある場合(RWDアプリケーションでは)ブレースのセクションを削除することができます。これにより、ギアボックスを取り外す際に下パイプを引き抜く必要がなくなります。FWDまたは4WDアプリケーションでは、エンジンブロックからピックアップします。



- フレキシブル配管や蛇腹管は、ターボ/マニホールドの重量を取り除くもう1つの良い方法です。これらはマニホールド/マニホールドスタッドやターボに不要な負荷をかけることなく排気が自由に動くようにします。
- ※ ガasketにハトメがある場合、フランジ面と重なる個所はハトメを撤去し使用ください。ハトメに重なるようにフランジを取り付けした場合は歪みの原因になります。